

新着図書情報

泗水図書館



**私の「母子像」** 窪島誠一 著  
子を思い、母を思う心は永遠であり、様々な「母子像」との巡り合いは感動に満ちていた。香月泰男・熊谷守一をはじめ熊本に縁の深い画家、野田英生・海老原喜之助など36点の絵画を自伝的エッセイと共に作品の真髄に迫る解説で紹介する。信濃デッサン無言館館主の著。

**ありったけの話** 中山智幸 著  
命に関わる病ではないが、6年前に別れた恋人はある事情を抱えカナダへと旅立ってしまう。一旦は、受け入れると決めたものの突き放してしまつた過去にさいなまれるヒロユキ。前に進めずにいた時、父親を雪山で失った甥を預かることに……。熊本を舞台にした今年度の芥川賞候補の新鋭が描く長篇小説。

**告白** 湊かなえ 著  
「愛美は事故で死んだわけではありません。このクラスの生徒に殺されたのです。」4歳になる娘の死の真相を担当の女性教師が語り出す……。それぞれの章で語り手が替わり心の闇が明らかになる。少年犯罪を正面から描いた新人作家の鮮烈なデビュー作。

**「生きる - わたしたちの思い」** 谷川俊太郎 with friends 著  
「生きていくこと / いまを生きているということ」この一文から始まる詩人谷川俊太郎の傑作「生きる」。この詩を敬愛する人達がサイト「mixi」のコミュニティで自分たちの「生きる」を連作した。あつという間に参加者は数千を超え、様々な生きるかたが綴られていった。溢れる思いの詰まった一冊。

**息の発見** 五木寛之 著  
「いのち」は「息の道」である。子どものころから呼吸法が趣味だったという著者と禅僧で作家の玄有宗久師が息をテーマに熱く語り合った。東洋と西洋の息の違いやいのちをあやつる息のふしぎなど、息の世界に気づく「発見シリーズ」の第4集。

**奇跡のリンゴ** 石川拓治 著  
「絶対不可能」を覆した農家、木村秋則の記録。リンゴの無能薬栽培に挑んだものの、必死の努力も虚しく、畑は病気と害虫で荒れ放題。家族7人は極貧生活。ついに死を決意して登った山で、木村はあることに気づく。約20年かけて無農薬・無肥料のリンゴ栽培に成功した農家の壮絶な人間ドラマ。

**19歳の君へ - 人が生き、死ぬということ -** 日野原重明 編著  
人の命も自分の命も軽く扱い、リアルな実感を失った若者が重大事件を犯す一方で、終末期医療の現場で目前の命に生涯を賭ける医療者たちがいる。人間の生と死に直面し、先駆的な働きをしているエキスパートたちが、「いのち」について語る。大学生対象の連続講義をまとめた一冊。

**心に狂いが生じるとき 精神科医の症例報告** 岩波明 著  
突然訪れたかに見える精神の変調には、日常に潜む些細なきっかけが……。人はいかんして「心の病」にかかるのか。狂気への境界を越えるとき、身体に何が起きるのか。現役医師が重度の精神病に陥った具体例を詳細に分析し、自分は大丈夫だと錯覚している人々に警鐘を鳴らす。

**どんがとぴんがのプレゼント** 西内ミナミ 作 / スズキコージ 絵  
クリスマス・イヴの晩、はりねずみの夫婦はニコラスおじさんの靴下に穴があいている事に気がつき、靴下をプレゼントするために旅にでる。春は羊を追う仕事で羊毛をもらい、夏には紡ぎやで動き、1年かけてプレゼントをつくりあげる。スズキコージの不思議な魅力が溢れた絵本。



**ファール昆虫記 みのむし** 小林清之介 文 / 金尾恵子 絵  
みのむしはどうしていつもみのを体につけているの？木の枝にぶらさがって何をしているのかな？本当に不思議なみのむしの暮らしぶりを紹介。あの「ファール昆虫記」を子どもたちに親しみやすいよう、わかりやすい文章と精緻な絵で描いた科学絵本。

**ラッキー・トリンプルのサバイバルな毎日** スーザン・パトロソ 著  
母を亡くし、砂漠の町ハードバンで暮らす10歳の少女ラッキー。彼女の頭の中は、疑問や不安や心配ごとがいっぱい！なかなかハードな人生だけど、自分の道は自分で切りひらこうとする、元気な女の子の物語。2007年ニューベリ賞受賞作。

**時間をまきもどせ！** ナンシー・エチメンディ 著  
森で出会った不思議な老人に、失敗を取り消すことができる機械「パワー・オブ・アン」をもらったギブは、自分の不注意で事故に遭った妹を助けようと過去にもどりますが……。妹を救いたい少年の気持ちが胸に迫る、プラム・ストーカー賞受賞のSF小説。

**中央公民館図書室**  
**ラララ親善大使** 紺野美沙子 著  
国連開発計画 (UNDP) は、開発途上国の国づくりや人づくりのための開発援助を行っている国連機関の一つ。その親善大使として、開発途上国や地域を訪問する女優・紺野美沙子が、10年の月日を振り返り、自分の誕生日を知らない子どもたちや今も地雷の恐怖に脅える人びとの現状を国ごとに紹介する。

**抜け参り薬草旅** 出久根達郎 著  
瀬戸物問屋の小僧・洋吉は、お蔭参りの一人旅に出た。旅の途中で、薬草採りの庄兵衛と出会い、一緒に行くことになったが、庄兵衛の薬を狙う輩に追われ、次々とおかしな事件に巻き込まれてしまう。江戸時代を舞台にした長編時代小説。

**ミラクル・ボーイ** ウルフ・スタルク 文 / マルクス・マヤルオマ 絵 / 菱木晃子 訳  
ぼくは、おにいちゃんとその友だちと遊びに行きたかったけど、置いていかれてしまった。そこで、ぼくは「ミラクル・ボーイ」になることにした！そうすれば、空も飛べるし、迷子にもならないはず。子どもの好奇心や想像力をユーモアたっぷりに描いた絵本。



**窓の魚** 西加奈子 著  
ハルナとトウヤマ、ナツとアキオの2組の若いカップルが向かったのは、山にある温泉旅館だった。一見、仲が良いようで、本当は決して本音では語り合えない4人は、それぞれが人に言えない秘密を抱えて苦しんでいた。秋の一夜を描いた長編小説。

私の推薦



おがた たいこ 緒方 泰子さん (泗水中3年)

あたしの惑星ークラリス・ビーン

ローレン・チャイルド 著

主人公クラリス・ビーンは、先生から地球環境についての課題を出されました。考えをみるもの、アイデアが思いつきません。そんな中、お兄ちゃんが「計画をねって、環境破壊をくいとめるー」と、通りの大木が切り倒されることに抗議しはじめて……。この絵本は、私が持っていた「絵本の常識」をすべて「覆しました。画法が斬新で、言葉のニュアンスが面白くて……。白く、周りで起こる出来事がエキサイティング。そんな絵本に私はショックを受けました。この絵本の中で、クラリス・ビーンが最後に言った「たかが一日くらい……。という言葉がなぜかかっこいいと思えました。環境問題とは、実践して初めて一歩、前に進むものだと思いました。笑って泣いて(?) 共感できる絵本なので、皆さんも、ぜひ読んでみてください。

目より情報

**「カーフとミルクとなかまたち」原画アート展**  
ほのぼのとした動物たちの表情を描いた絵本の原画をご覧くださいませんか？  
展示期間 12月2日(火)～12月14日(日) (泗水図書館)

**クリスマス会**  
12月21日(日)午後2時からのおたのしみ会は「クリスマス会」をします。楽しいお話やパネルシアターなどを用意していますので、お気軽にお越しください。今回は、「お楽しみ会」と「おはなしかい」を合同で行います。(泗水図書館)



**与謝野晶子の誕生日**  
明治30年代から戦前まで活躍した詩人で歌人の与謝野晶子は、明治11(1878)年12月7日に生まれました。子どものころから読書が大好きで、歌人として活躍していた与謝野鉄幹が発行していた文芸誌に参加し、その後、鉄幹と結婚しました。初めての歌集「みだれ髪」が多くの人の注目を集め、その後も何冊も歌集を出しました。また、「源氏物語」を現代語訳し、他にも女性の権利の問題も評論するなど、その活躍は多岐に渡りました。(中央公民館図書室)

**年末・年始の閉室日・休館日**  
中央公民館と旭志公民館の図書室  
12月27日(土)～平成21年1月4日(日)  
七城公民館図書室  
12月28日(日)～平成21年1月4日(日)  
泗水図書館  
12月29日(月)～平成21年1月5日(月)

問い合わせ先  
中央公民館図書室 ☎ (25) 1672  
七城公民館図書室 ☎ (25) 1580  
旭志公民館図書室 ☎ (37) 3111 内線 303  
泗水図書館 ☎ (38) 6866

12月の予定

	中央公民館 図書室	七城公民館 図書室	旭志公民館 図書室	泗水図書館
1 月				休館日
2 火				
3 水				
4 木				
5 金				
6 土			閉室日	
7 日	閉室日	閉室日	閉室日	
8 月				休館日
9 火				
10 水				
11 木				
12 金				
13 土	きくちおはなしのもり おはなしかい 10:30～		閉室日	
14 日	閉室日	閉室日	閉室日	
15 月	閉室日			休館日
16 火				
17 水				
18 木				
19 金				
20 土			閉室日	古典を 楽しむ会 14:00～
21 日	閉室日	閉室日	閉室日	クリスマス会 14:00～
22 月				休館日
23 火	閉室日	閉室日	閉室日	休館日
24 水				
25 木				
26 金	午後5時で 閉室			
27 土	閉室日		閉室日	
28 日	閉室日	閉室日	閉室日	
29 月	閉室日	閉室日	閉室日	休館日
30 火	閉室日	閉室日	閉室日	休館日
31 水	閉室日	閉室日	閉室日	休館日